

第26回宇宙開発委員会(定例会議)

議 事 次 第

1. 日時 昭和49年12月18日(水)
午後2時～4時
2. 場所 宇宙開発委員会会議室
3. 議題

昭和49年度1～2月期ロケット打上げ実験計画について

説明者

東京大学宇宙航空研究所教授

森 大吉郎

〃

野 村民也

〃

林 友直

宇宙開発事業団副理事長

松 浦 陽 恵

〃

理事

高 田 茂 俊

〃

打上管制部長

榑 博

4. 資料

委26-1 第25回宇宙開発委員会(定例会議)議事要旨

委26-2 昭和49年度1～2月期ロケット打上げ実験
計画一覧

委26-3 SESノート K-№453～№457

委26-4 試験用ロケット2号機の打上げ

委26-5 試験用ロケット2号機打上げ計画書

委26-1

第25回宇宙開発委員会(定例会議)

議事要旨

1. 日時 昭和49年12月11日(水)

午後2時～4時

2. 場所 宇宙開発委員会会議室

3. 議題

(1) 新委員長あいさつ及び委員長代理指名

(2) 昭和49年度8～9月期ロケット打上げ実験の評価について(報告)

4. 資料

委25-1 第24回宇宙開発委員会(定例会議)議事要旨

委25-2 昭和49年度8～9月期ロケット打上げ実験の評価について(報告)

委25-3 SESノート No.63 L-4S-0-3 実験報告

委25-4 試験用ロケット1号機打上げ報告書

5. 出席者

宇宙開発委員会委員長

〃 委員

〃 〃

〃 〃

〃 〃

説明者

技術部会第一分科会長

関係省庁職員等

科学技術事務次官

科学技術庁研究調整局長

佐々木 義 武

山 県 昌 夫

網 島 毅

八 藤 東 禮

斎 藤 成 文

佐 貫 亦 男

武 安 義 光

伊 原 義 徳

科学技術庁研究調整局宇宙開発参事官

運輸省大臣官房参事官

気象庁総務部長

海上保安庁総務部長

郵政省電波監理局審議官

東京大学宇宙航空研究所業務課

宇宙開発事業団システム計画部

事務局

科学技術庁研究調整局宇宙企画課長

〃 宇宙国際課長

山 野 正 登

横 田 不二夫

(代理:石垣)

岩 田 弘 文

(〃:池田)

石 川 昭 夫

(〃:黒川)

市 川 澄 夫

(〃:薮)

高 瀬 修

高 木 邦 寛

上 島 史 郎

松 原 伸 一 他

6. 議事要旨

(1) 新委員長あいさつ及び委員長代理の指名

佐々木義武新委員長から新任のあいさつが行われたのち、山県昌夫委員が引き続き委員長代理に指名された。

(2) 前回議事要旨について

第24回宇宙開発委員会(定例会議)議事要旨が確認された。

(3) 昭和49年度8～9月期ロケット打上げ実験の評価について

網島毅技術部会長から、標記の件に関する技術部会報告がとりまとめられた旨発言があり、佐貫亦男技術部会第一分科会長から資料25-2、25-3及び25-4に基づいて報告が行われた。こののち以下の質疑応答が行われ本報告を委員会として了解することとされた。

網島：今回の打上げ実験においては、L-4 S O-3号機に不具合が発生したようであるが今後の打上げ実験に支障を与えるような本質的な問題はないと考えてよいか。

佐貫：不具合は、ロール制御信号回路の定数に誤りがあり、しかもその誤りを事前に発見できなかったために発生した。

この点について、宇宙航空研究所は十分反省しており、管理体制等に改善が加えられると思うので今後の打上げ実験に本質的な影響を与えるものではないと考える。

斎藤：宇宙航空研究所は、今回用いたロールジェット装置の推力を開発の途中で変更しているが、この変更に伴う回路定数の変更がなされていなかった可能性が強い。また、ロールジェット装置はかなりの使用実績をもつので、地上試験が省略されていた。この2つのことが重なって、今回のような不具合が発生したものと思う。

委26-2

昭和49年度1～2月期ロケット打上げ実験計画一覧

昭和49年12月18日

機種	打上げ予定日	延期日	打上げ場所
K-9M-49	昭和50年1月16日	1月17日～20日まで	内之浦
S-310-1	1月18日	1月19日～23日まで	"
K-9M-50	1月21日	1月22日～25日まで	"
MT-135P —T-13	1月30日	2月 1日～13日まで 2月24日～28日まで	種子島
試験用ロケット 2号機	1月31日	"	"
MT-135P —T-14	2月 1日	"	"
M-30-2	2月14日	2月15日～23日まで	内之浦